

1 頁 地域貢献人材名簿
拡大幹事会研修会

2 頁 全国高齢者集会
職域・地域の動き

ボジラーネ

改題 高齢協「会報」

発行
〒950-0965
連合新潟高齢者協議会
新潟市中央区新光町6-2
TEL 025-281-5454
FAX 025-281-5456

地域で健康で生きがいを持って暮らそう！

地域貢献人材の名簿化に協力を！

第22回定期総会でも確認したように表題の「地域貢献人材の名簿化」を具体的進めるため、各職域退職者会・地域高齢協に取り組みの要請文書を送付しました。

ご存知のように同運動は、連合や労福協運動が「地域」をキーワードにした活動にシフトしつつある中で、高齢協としても、会員の持っている豊富なキャリアや知識を地域で生かし、連合や労福協運動の一端を担っていければと考えています。もって、健康寿命の引き上げを促進し、高齢者自身が、健康でかつ地域で生き生きと暮らせるようになればと考え提起している運

動です。

各組織においても怪異の中で、豊富な知識や経験をボランティアで活動していただける方を推薦いただきたいと思います。

すでに各組織に文書で要請しています

県高齢協が当面求める人材

- ①健康促進／ウォーキングやヨガ、健康体操等指導をしていただける方
- ②趣味関係／初心者向けに盆栽、家庭菜園、囲碁将棋を指導していただける方
- ③各種相談／労働、税金、社会保険関係に精通している方
- ④民生委員等／生活保護等福祉行政に精通している方



拡大幹事会＋研修会＋交流会 実施します

11月21日(金) 12時より ガレソンホール

昨年に引き続き、地域高齢協の会長・事務局長も含めた「拡大幹事会」を開催します。幹事会では、介護保険制度にかかわる自治体への要請行動の意思統一、意見交換等を行います。



研修会では、2025年に向けて「地域包括ケアシステム」を具体的に作り上げるために何が必要で何が問題なのか、自治体の役割はどうか、われわれは何を求めるべきか等について、地域包括ケアシステムと自治体の役割に詳しい、中央退職者会の〇〇〇〇さん(自治労退職者)においでいただいて講演を行います。

なお、研修会及び交流会は高齢協会員であれば、

どなたでも参加できます。

12時／拡大幹事会 13時30分／研修会

15時／交流会(参加費2000円必要です)

申込／高齢協事務局まで

高齢協のホームページ立ち上げましたよ

<http://koureikyuu.niigata.jp/>

アクセス方法・「連合新潟高齢協」と検索してみてください

- ・連合新潟もしくは中央退職者連合のホームページのバナーからもアクセスできます

職域・地域で総会やイベントした際は、高齢協に原稿を送付してください。HPにアップします。

生き生きと安心して暮らせる社会をつくろう

2014 全国高齢者集会

9.15 日比谷公会堂

生き生きと安心して暮らせる社会をつくろうをテーマに全国高齢者集会が、9月15日、東京日比谷公会堂で開催されました。

今年の集会の基調は、社会保障の関係の要求実現、低所得高齢単身女性問題への取り組みなど7項目が設定されました。特に低所得高齢単身女性問題では、ひとり暮らし高齢者、特に単身女性が低所得・貧困に陥る度合いが高く、大きな社会問題になっていることから本年新たに設定されたものです。

集会は、基調報告に続き、地域からの報告として、岩手、愛媛、山口から震災被災地の現状や社会貢献の取り組みについて報告がありました。

最後に、平和を脅かし国民生活を不安苦境に陥れ

る自公政権と対決し誰もが生き生きと安心して暮らせる平和な社会の実現をめざす集会アピールを採択し、銀座までのデモ行進を行いました。

全国代表者会議

介護保険制度改革自治体要請行動を確認

9月16日、東京ホテルラングウッドで全国代表者会議が開催されました。会議では、昨年に引き続き、介護保険制度を充実のための自治体要請行動を展開することが確認されました。

すでに地域行動モデル案が作成されています。新潟でも11月21日の拡大幹事会で行動を確認します。

南部支部 総会

にいがた LSC 運動に参画

南部支部は、9月9日、第9回定期総会を開催しました。県高齢協運動の実践、連合地協支部内の積極的な参加、研修会・学習会への参加等の方針を確認するとともに、特に連合新潟地協と地区労福協が運営するにいがたライフサポートセンターへの参画として、高齢協が受け持っている水曜日の当番等に積極的に受け持っていくことも確認しました。

また、来年の統一自治体選挙で秋葉区から出馬する「小島晋」さんを、高齢協の事務局次長として活動してきたことを踏まえ、支部として推薦し活動していくことも確認しました。

新発田地域高齢協 総会

経験・知識・技術を生かす

新発田地域高齢協は、10月15日、第17回定期総会を開催し、課題として、年金の支給切り下げ、介護の要支援サービスの市町村移管、医療の窓口負担の引き上げ、老年者に厳しい税制を位置づけ、向こう一年間の活動方針を確認しました。

年金・医療・介護は中央地方一体となった取り組み、ライフサポートセンターの活動には、退職者の経験・知識・技術を生かし運動に参画していくことを確認しました。

また、参加、組織の交流と友好を図るため、引き続き囲碁大会やレクリエーション大会を開催していくことも確認しました。

閉じこもりをなくせ

村上地域高齢協 総会

9月27日、村上地域高齢協は、第15回定期総会を開催しました。活動報告では、ふれあい事業としてペタング大会や介護保険制度の研修会に実施等の報告がありました。

次年度の方針では、趣味の会などサークル化が可能な条件を模索し閉じこもりをなくしたり、健康維持を図り軽スポーツ体験、人と会話することを実践するとして、関心の高い年金医療介護等の学習会をはじめ連合下越地協との連携強化、健康維持事業、ふれあい事業、講演会事業等を行っていくこととしました。

2015全国高齢者集会

従前どおり9月15日に開催

中央退職者連合は、代表者会議で来年の全国高齢者集会を「5月22日」に開催し、年金・医療・介護等の問題について、国会要請を兼ねて実施していくことを確認しましたが、11月18日の第8回幹事会で、従来通り9月15日に開催することとしました。

理由は、退職者連合結成以来、9月15日（敬老の日）に開催していること、国会請願が必要であれば高齢者集会とば別途行うべき、各組織は9月15日に年間行事として設定し、前後の行動を企画している、等の理由で、従前どおり9月15日に開催していくこととしました。